



佐藤禎一理事長(左)から辞令を受け取る釧路信金の新入職員

新社会人成長誓う

管内も入社式、辞令交付式

新年度を迎えた1日、釧路管内でも多くの企業や官公庁で入社式や辞令交付式が行われ、新社会人が緊張した面持ちで新しい一歩を踏み出した。

辞令交付を受けた新人たちは、組織のトップの激励の言葉に耳を傾けていた。

宿泊施設やレストランを運営する鶴雅ホールディングスは、グループ企業の合同入社式を阿寒湖温泉の鶴雅ウイングスで開いた。大西雅之社長は「国を挙げ観光立国政策が動きだしている。真のプロフェッショナルとして仕事をしてほしい」と激励。新入社員46人を代表し、尾鷲琢也さん(22)と近藤美紗さん(22)が「社会に貢献できるよう成長します」と宣誓した。

釧路市の社会医療法人孝仁会は釧路孝仁会記念病院で入社式を開き、採用された医師や看護師、事務職員ら169人が出席した。斎藤孝次理事長は「医療の進歩とともに自分自身を成長させ、医療、福祉を通じて社会に貢献してほしい」とあいさつした。釧路信金の佐藤禎一理事長は、釧路市の本店で開いた入庫式で16人に辞令を手渡し、「無難ではなく果敢に打ち勝つ決意で挑戦してほしい」と期待を寄せた。

釧路市の社会医療法人孝仁会は釧路孝仁会記念病院で入社式を開き、採用され

釧路市は今春、60人を採用。釧路市役所で開いた辞令交付式には、消防職員15人を除く45人が出席した。

こども育成課に配属された宮田菜奈さん(23)は「全体の奉仕者として誠実、かつ公正に職務を執行することを固く誓います」と宣誓。蝦名大也市長は「このまちの大切な財産として頑張ってくれ、成長を期待しています」と励ました。